



第13号
2018. 2. 8

発行
長野県松本美須々ヶ丘高等学校同窓会
〒390-8602
長野県松本市美須々 2-1
TEL・FAX (0263) 33-2560 (事務局直線)
ホームページ
<http://www.misuzu-dosokai.jp/>
メールアドレス
jimu@misuzu-dosokai.jp

印刷 SALAT (株) サラト
Sajat Corporation

私たちの同窓生
会員数 34,877人
在校生 912人
(男 440、女 472)
平成 29 年 4 月現在

前身学校

長野県市立松本女子職業学校
長野県松本高等家政女学校
長野県松本市立高等女学校
長野県松本市立中学校
長野県松本市立女子商業学校
長野県松本市立高等学校



同窓会会長 中村 一郎 (昭和37卒)

**母校支援活動に積極性を発揮し
更なる同窓会活動の活性化を図ろう**

同窓会会員の皆様方におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は同窓会発展および活性化のために格別のご高配を賜り、誠にありがとうございました。心より厚く御礼申し上げます。

まずは、同窓会のこの一年を振り返ってみますと、望むべくもない訃報がありました。松本美須々ヶ丘高校同窓会の第四代会長の井口善高氏が平

成二十九年九月二十五日ご逝去されました。八十歳でした。長寿時代の観点から見ますとまだまだお若いはずですが、癌との闘いには叶わず残念な結果となつてしまいました。同窓会一同よりご冥福をお祈り申し上げます。

話は変わりますが、年間行事として最重要且つ最大の定期総会におきましては、大勢の皆様方のご参加を頂き、感謝申し上げます。次年度以降

も是非このような盛大な総会が発展的に継続実施されますことを切に望んでおります。

標題にも触れました母校支援活動についてですが、同窓会が母校生徒の活動をバックアップするべくマイクログラスを購入し、学校に貸与することを昨年のこの定期総会で決定しました。これを受けて昨年十月十四日に貸与式を挙行了しましたが、今後、対外的な部活動の移動手段として有効に活用されま

すことを祈念いたしております。さて、学校の方に目を転じますと、一昨年の四月から保坂美代子校長先生をお迎えいたしました同窓会の雰囲気にも変化が生じて新たな時代を

迎えた感じがいたします。たとえば野球の応援などにおいてスタンドに同席されて選手たちの活躍ぶりに一喜一憂されるなど女性ならではのきめ細やかなご対応に感謝いたしました。

ところで、「同窓会のホームページ」をご覧いただきました後輩会員様より「いつも見せていただいておりますが、同窓会の動きがよくわかるようになりましたね」とうれしい評価をいただきました。今後、さらに充実をしてみたいと思います。今後とも若い世代の方々が活動に参加していただけますように、会員の皆様のご意見に真摯に耳を傾けるべくアンテナの感度を高めて行きたいと考えており

ます。本校のように都市部に位置する大規模な普通高校においても、これまで以上に学校の特徴を意識して、どのような生徒を育てるのか、そのためにどのような教育内容を展開するのかを、明確に示していくことが必要になっていきます。

ます。会員の皆様の積極的なご参加を心よりお待ち申し上げます。

また、同窓会、学校との共催で「美須々ヶ丘セミナー・信州学」を開催しました。「イオンモールと松本」というテーマで二回の講演会を行い、松本の歴史や将来像について考えさせられたよい機会となりました。

このように学校とのより強力な関係を築きながら同窓会および母校の益々の発展を目指して参ります。保坂校長先生はじめ諸先生方および同窓会副会長をはじめとする全役員の方々ならびに同窓生の皆様方のご協力、ご支援をお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。



次期高校改革に向けて

校長 保坂 美代子

同窓会員の皆様には、日頃から母校の教育活動に対して物心両面での多大なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。特に今年度は、生徒の課外活動振興のため、新規購入したマイクログラスを学校に貸与していただきました。既に運動部の対外試合等での移動の際に大いに活用しており、移動時間の短縮と練習効率の向上が図れるものと期待しております。

今年の8月には、第42回全国高等学校総合文化祭(2018信州総文祭)が開催され、全国の文化系クラブで活動する高校生が長野県に集います。各県持ち回り開催のため47年に1度の貴重な機会であり、県内の高校生と教職員が総力を挙げて準備に取り組んでいるところです。この大会の運営にあたっては本校の生徒も様々な場面で重要な役割を果たし

ておりますので、是非ご注目いただければと思います。さて、本県の県立高校を取り巻く状況は、今後予想される急激な少子化の影響や社会の変化を受けて、大きな転換期を迎えております。すでに第1期の高校再編は平成28年に完了し、校数を10校減らして新校を設立する等の改革が行われましたが、更なる改革の必要性から第2期の再編計画策定が進行しているところで

す。その中では、県内各地域の特性を考慮しながら、様々な学科や課程を持つ高校を全県にバランスよく配置していくことに重点が置かれてい

ます。同窓会員の皆様には、高校生と社会を繋ぐパイプ役として、それぞれのご経験を生かしたご助言をいただけたら幸いです。今後とも、変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。

平成29年度
長野県松本美須々ヶ丘高等学校同窓会定期総会

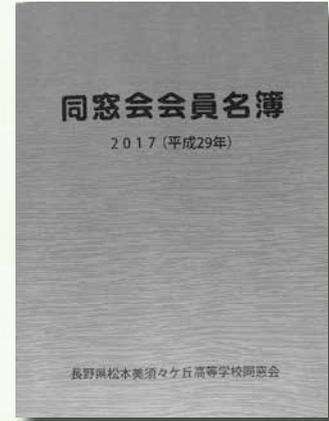
《会議次第》

- 1 開会のことば
- 2 同窓会会長あいさつ
- 3 学校長あいさつ
- 4 同窓会顧問あいさつ
- 5 同窓会参与あいさつ
- 6 議長選出・議長就任あいさつ
- 7 議事録署名人の委嘱
- 8 議 事
 - 第 1 号議案 平成28年度事業報告について
 - 第 2 号議案 平成28年度決算報告及び会計監査報告について
 - 第 3 号議案 平成29年度事業計画(案)について
 - 第 4 号議案 平成29年度予算(案)について
- 9 議長退任あいさつ
- 10 報告事項
 - (1) 学校の近況について
 - (2) 同窓会会員名簿の発行について
 - (3) その他
- 11 閉会のことば

- ・提出議案につきましては、すべて原案のとおり承認されました。
- ・今年度の定期総会、コンサート、懇親会に出席されたみなさまは、約80名でした。
- ・平成29年度当番幹事の昭和55年卒、平成2年卒のみなさまありがとうございます。来年度(昭和56年卒、平成3年卒)のみなさま、よろしく願います。

新会員名簿を
刊行しました

平成28年度の定期総会にて作成が決議されました会員名簿が、平成29年6月22日に発刊されました。新しい名簿を同窓会活動にご活用ください。なお、購入をご希望の方は事務局までご連絡をお願いいたします。



平成二十九年
同窓会役員名簿

役 職	氏 名	卒業年
顧 問	銭 坂 明 尚	昭和 22
"	井 口 善 高 <small>29.9.25逝去</small>	昭和 30
"	福 島 昭 子	昭和 26
顧 問(校長)	保 坂 美代子	
参 与	山 元 秀 泰	昭和 47
"	中 川 博 司	昭和 52
"	豊 裕 一	平成 元
会 長	中 村 一 郎	昭和 37
副会長(会長代行)	小 林 磨 史	昭和 48
副 会 長	百 瀬 富貴子	昭和 45
副会長(事務局長)	瀬 川 久 幸	昭和 55
副 会 長	石 田 さち子	昭和 56
副会長(教頭)	工 藤 哲 夫	昭和 52
常 任 理 事	大 林 好 矩	昭和 28
"	山 田 悦 生	昭和 42
監 事	松 本 武 子	昭和 47
"	小 野 伸 二	昭和 61
会 計	原 元 士	昭和 50
会 計(事務長)	小 原 徹	
理 事	三 澤 博	昭和 39
"	三 輪 尚 弘	昭和 41
"	北 平 聖 子	昭和 43
"	川 崎 亨	昭和 45
"	大 沢 千 尋	昭和 46
"	中 村 俊 春	昭和 46
"	堤 典 義	昭和 52
"	須 澤 稔	昭和 54
"	中 村 努	昭和 56
"	中 村 ひとみ	昭和 57
"	田 村 義 夫	平成 3
事 務 局	住 田 慶 子	昭和 37
"	鳥 羽 美根子	昭和 37
"	横 田 麗 子	昭和 43
"	逢 澤 幸 子	昭和 45
"	滝 沢 愛 子	
学 校 職 員	酒 井 舞	平成 14
"	依 田 和 浩	

平成28年度 松本美須々ヶ丘高等学校同窓会
一般会計決算書

収入総額 8,978,970 円
支出総額 7,069,197 円
差引残額 1,909,773 円

1 収入の部

単位：円

科 目	予算現額	収入済額	差 額	摘 要
1 会 費	6,795,000	6,734,934	△ 60,066	
1 新入生会費	1,605,000	1,611,000	6,000	新入生 322人×5,000円 その他1,000円
2 卒業生会費	3,190,000	3,180,000	△ 10,000	卒業生 318人×10,000円
3 会員会費	2,000,000	1,943,934	△ 56,066	会員 971人
2 諸収入	10,363	10,399	36	
1 諸収入	363	19	△ 344	預金利息
2 百周年記念誌代	10,000	10,380	380	記念誌 2冊
3 繰越金	2,233,637	2,233,637	0	前年度からの繰越金
合 計	9,039,000	8,978,970	△ 60,030	

2 支出の部

単位：円

科 目	予算現額	支出済額	予算残額	摘 要
1 活動費	7,675,000	6,069,197	1,605,803	
1 事務費	1,345,000	1,011,414	333,586	事務局職員謝金、パソコン パソコン関係機器・ソフト、消耗品等 電話代、インターネット利用料、郵送料等 事務局光熱水費、HPサーバ使用料等 ホームページ掲載等謝礼
2 会議費	200,000	28,681	171,319	役員会経費 同級会(S41年卒業5組)補助
3 総会費	800,000	738,784	61,216	総会経費、案内印刷・郵送料、新聞広告
4 母校援助費	2,300,000	1,544,545	755,455	双蝶祭行事費、新聞応援広告掲載料、 両開き書庫、扇風機等 美須々ヶ丘セミナー・学校整備共同作業 補助、野球部・サッカー部・バスケ部・ 弓道部・バドミントン部支援費等
5 同窓会報発行費	2,600,000	2,351,573	248,427	会報印刷・発送経費
6 卒業記念費	270,000	253,500	16,500	卒業証書ホルダー購入
7 交際費	160,000	140,700	19,300	学校歓迎会への出席役員補助等
2 積立金	1,000,000	1,000,000	0	特別会計へ積立
3 予備費	364,000	0	364,000	
合 計	9,039,000	7,069,197	1,969,803	

特別会計(積立金) 残高報告	27年度末残	28年度増減		残 額	摘 要
		増	減		
	23,879,016	4,672		24,883,688	預金利息
		1,000,000			一般会計から

平成29年度 松本美須々ヶ丘高等学校同窓会定期総会 6月17日(土)



中村一郎同窓会会長挨拶

松本東急REIホテルにて、約80名の会員の参加を得て平成29年度同窓会定期総会が開催されました。

提出議案について厳正な審査をした結果、すべて原案のとおり承認されました。

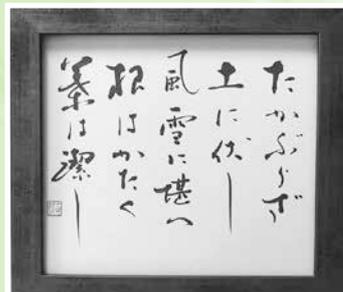
そして、昭和55年卒と平成2年卒の幹事学年の進行による懇親会へと続きました。和やかな歓談のうちに時は過ぎ、恒例の校歌大合唱の後、来年の再会を期して昭和56年卒、平成3年卒の幹事学年へと「美須々のこころの額」が引き継がれました。



大林常任理事のピアノ伴奏で校歌大合唱



幹事学年の引継ぎです。



工藤教頭の揮毫による引継校歌額



サクソフォンコンサート



プログラム(順不同)

- ◇ カンツォネッタ/G.ピエルネ
- ◇ ディズニースペシャルメドレー
(不思議の国のアリス～ Part of your World ～いつか王子様が)/狭間美帆 編
- ◇ 想いの届く日/C.ガルデル
- ◇ 「アルトサクソフォンとピアノのためのソナタ」より2, 3楽章/P.クレストン

ほか



◆ 岩瀬みずき (サクソフォン)

いわぶち
平成20年(2008年)松本美須々ヶ丘高等学校卒業。
国立音楽大学卒業。2011年6月、ソリストとして東京国際芸術協会管弦楽団とアレクサンドル・グラスノフの「アルトサクソフォンと弦楽オーケストラのための協奏曲」を共演。その後2012年5月より渡独し、ケルン音楽大学大学院修士課程にて研鑽を積む。同大学院修士課程においては、室内楽、修了試験共に最優秀の評価を獲得。2013年3月には自身初のソロリサイタル「Ein klein saxophonabend」を開催。2014年3月、Musik Messe (ドイツ・フランクフルト)、2015年7月、ワールド・サクソフォン・コンGRESS (フランス・ストラズブール)に出演。これまでにサクソフォンを原博巳、下地啓二、ダニエル・ゴージェの各氏、室内楽を雲井雅人、ロバート・クレークの各氏に師事。2010年にはジョナサン・ヘルトン氏のマスタークラス、同年、フレデリック・ヘムケ氏のレッスンを受講。サクソフォン・アンサンブルCarbuncle Sax (カーバンクル・サクス)メンバー。

◆ 正村 恵 (ピアノ)

しょうむら めぐみ
横浜市出身。神奈川県立柏陽高校を経て、国立音楽大学演奏学科(ピアノ)卒業、鍵盤楽器ソリストコース修了。同大学大学院音楽研究科修士課程を首席にて修了。
最優秀賞およびクロイツァー記念賞を受賞。在学中、国内外研修奨学生として渡仏ニース夏期国際音楽アカデミー受講生によるコンサートに出演。卒業演奏会、コース修了演奏会、大学院新人演奏会に出演。また学内において、若林 顕、ミシェル・ペロフ、ナターリャ・トゥルーリ、アレッシオ・バックスなど各氏の特別公開レッスンを受講する。
2015年9月、マルチパーカッショニストの上野信一氏と共演。
現在、ソロをはじめ声楽や器楽の伴奏を務めるなど、幅広く活動を行っている。

双蝶祭で恒例の豚汁サービス

昨年は、大勢の皆さんに周知できるよう豚汁案内の看板を作り直しました。とても暑い日で、作る人も食べる人も汗を流しながら・・・でしたが、何杯もお代わりをする強者も居て、好評のうちに、1時間ほどで400食の提供が終了しました。



美味しい豚汁が出来ました。



役員の皆さん、お疲れ様でした！



9月2日に同窓会、PTA、職員、生徒による学校整備共同作業が行われました。



平成31年(2019年)に松本美須々ヶ丘高等学校は創立110周年を迎えますが、その記念事業の前倒し事業として、同窓会がマイクロバスを購入し、生徒の部活動を支援するため学校に貸与することが昨年6月開催の定期総会で決定されました。

昨年10月にマイクロバスが納車となり、10月14日(土)午後4時から、学校正面玄関前で貸与式を行いました。



日産CIVILIAN (29人乗り)です。車両の両サイドと後部に、校章と「松本美須々ヶ丘高等学校同窓会」の文字を入れました。



レプリカキーを中村会長から保坂校長へ手渡します。



小原事務長 保坂校長 中村会長 工藤教頭 小林副会長 (運転席)



美須々教育会館とバスの前で記念撮影「有効に、安全に、大事に」使ってください。

(写真提供 市民タイムス社)

※同窓会の目的に沿った活動(会員相互の親和団結や母校の教育活動援助等)を行う際には、会員の皆様もマイクロバスをご利用いただけます。ご希望がありましたら事務局までご連絡ください。

県外在住の皆様

ふるさと納税により母校の支援ができます！

～ 「ふるさと信州寄付金」の制度を利用して
母校の教育環境充実にご協力を～

- ☆ お寄せいただいた寄付金は、ふるさと納税制度による税制上の優遇措置が適用されます。
- ☆ 1万円以上の寄付をされた場合、信州ブランド品が贈呈されます。

寄付の方法は？

- ① 「寄付申出書」にご記入の上、記載の送付先へお送りください。
 - ② “ふるさと納税ポータルサイト「さとふる」”から、インターネットによる申し込みもできます。
- ★ いずれの場合も、「寄付金の活用を希望する長野県の取り組み」の選択肢から、12番「その他の希望」を選び、カッコ内に【松本美須々ヶ丘高校の教育環境の充実】とご記入ください。
 - ★ 上記により、お寄せいただいた寄付金は県から母校へ予算配当され、学校設備等の充実のために活用されます。

6月8日に卒業生10名を招き「ようこそ母校へ～先輩の話を聞く会～」が開催されました。



2年生を対象にした催しで、多方面で活躍中の先輩たちの経験を聞くことにより、進路選択、職業選択の参考になれば、と企画されました。講話終了後、教育会館で記念撮影をしました。皆様の更なるご活躍を期待しております。

平成29年度の母校支援の状況

学校	美須々ヶ丘セミナー負担金	
	「朝日けんさくくん」利用料補助	
	「ようこそ母校へ～先輩の話を聞く会～」開催支援	
	学校整備共同作業 (作業台レンタル、中庭碎石購入)	
	マイクロバス購入・貸与	
	双蝶祭豚汁サービス用看板	
	強歩大会用手旗	
クラブ 生徒会	視聴覚室用ルームエアコン	
	教室用ダストスタンド	
	野球部 陸上部 ソフトテニス部 ほか	散水用ポンプ 横断幕作 成 コートブラシ ほか
	生徒会	ボランティア活動保険

平成二十九年年度 美須々ヶ丘セミナー 「地域について学ぶ信州学講座」

本校では平成二十八年度より、信州学講座として、同窓会の多大なるご協力をいただきながら、美須々ヶ丘セミナー「信州学講座」を実施しております。おかげさまで今年度も三回のセミナーを行い、十二月に第六回が終了しました。

このセミナーの主旨は大きく二つあります。まず一つは長野県教育委員会で推進しております「信州学」の内容を取り入れることです。第二に、新学習指導要領に基づく「主体的で深い学び」の実践として生徒にその契機を与えるものです。そのような観点から今年度は、九月に開業されたイオンモール松本に焦点を当てることで、郷土松本の歴史をふり返り、松本の将来を考える機会としました。また、高大接続の点から、信州大学が隣接するという本校の他校にはない地理的な条件を活用し、昨年度に引き続き、信州大学の留学生をお招きして、グローバルな観点からローカルを見直す取り組みも継続しました。

美須々ヶ丘セミナーは、放課後、生徒の希望者を主体として参加を募り、また、一般の方々や保護者にも公開をしております。昨年度に比べ、生徒以外の参加者も増加傾向が見られ、地域に開かれた高校としての役割も果たしつつあります。高校教育にとって、地域とのつながりは今後の重要なキーワードです。

また、今年度は「信州学」の取り組みとして、進路指導部が一学年の総合的な学習

の時間の中で、地域の学びに関する講演を二回計画実施いたしました。信州大学の武者先生や地域に根付いて活躍されている講師をお招きして、生徒にとって刺激のある有意義なお話を伺いました。セミナー形式だけではなく学年全体で取り組む学習も今年度の成果です。

さて、本校では今年度いくつか改革に着手いたしました。来年度以降の入学生用教育課程表を見直して、習得すべき単位数を増やし、授業も五十五分としました。そして「総合的な学習(探究)」の時間を木曜日の六限に実施することを基本とし、今後の大学入試改革に対応できるシステムを整えつつあります。主体的な課題解決能力の育成が様々な授業を通して求められる中



で、「総合的な学習(探究)」の時間はそのベースとなる授業です。美須々ヶ丘セミナーのような取り組みが地道なその第一歩として、同窓会のご協力をいただき実施できることに感謝いたします。以下、今年度開催いたしましたセミナーの紹介をいたします。

第四回セミナー(十月十日)

テーマ 「イオンモールと松本」
講師 山田建築設計室代表取締役
山田健一郎先生

都市デザイン・建築という観点から、松本地域の開発の歴史をたどり、イオンモールのコンセプトについてお話がありました。選ばれた地方都市「シティプライド」としての松本の魅力発信が今後の課題であり、コンパクトシティというあり方などもご教示いただき、生徒の視野が広がりました。

第五回セミナー(十一月十四日)

テーマ 「留学生から見た松本」
講師 信州大学留学生 計六名
タイ・中国・モンゴル・アメリカ
計四ヶ国

信州大学に留学をしている六名の皆さんが来校してくれました。留学生の方は高校生との交流に積極的で、当日大学の講義が重なって参加できず、残念がっていた方もいらしたそうです。四人ずつのグループに分かれ、一緒に折り紙を使って折り鶴やクリスマスツリーなど作りながら、様々

な会話をしました。英語の自己紹介文を準備してきた生徒もいました。最初はやや緊張気味の雰囲気でしたが、最後は時間が足りないほど交流が深まり、楽しい時間となりました。

第六回セミナー(十二月十九日)

テーマ 「イオンモールと松本」
講師 株式会社明神館 代表取締役
齊藤 忠政先生

第四回セミナーに引き続き、イオンモールをテーマに、実際に経営者としてイオンモールに出入りされているお立場から多角的な視点で松本の町作りについてご講義いただきました。イオンモールと松本の観光について、外国人観光客から見た松本の魅力「信州と世界をつなぐ」ことについて、「自ら動き外に出て行動すること」の重要性についてなど、生徒の今後の学びにとって示唆に富む貴重なお話を伺いました。



平成29年度 クラブ活動の主な大会報告

学芸クラブ

FMC 演劇 合唱 写真 吹奏楽 ダンス 美術 書道 放送 情報処理
生物 被服 漫画 華道 茶道 映画研究

放送 NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会 テレビドキュメント部門
 第64回 NHK杯全国高校放送コンテスト 長野県大会
 ・テレビドキュメント部門 優秀賞 →全国大会へ
 第36回 TSB杯長野県高等学校新人放送コンテスト
 ・ビデオメッセージ部門 優良賞
 →北信越大会、全国総文祭へ
 ・CM部門 TSB杯(最優秀賞) →北信越大会へ
 ・アナウンス部門 赤羽 真萌(2年) 優良賞
 →北信越大会、全国総文祭へ
 ・朗読部門 木戸岡 由起(2年) 優秀賞
 →北信越大会、全国総文祭へ
 小林 万悠夏(1年) 優良賞 →北信越大会へ
 SBC交通安全CMコンテスト
 ・テレビCM部門 フレッシュ賞
 ・ラジオCM部門 グランプリ
 乗りたくなる地域鉄道! 高校生PR動画コンテスト
 ・最優秀賞
 ・優秀賞
 ・フレッシュ賞

演劇 県高等学校演劇合同発表会 優秀賞2位 創作脚本賞優秀賞
 関東高等学校演劇研究大会 出場

ダンス 県高等学校総合文化祭ダンスフェスティバル 最優秀賞

合唱 NHK全国学校音楽コンクール高等学校の部県大会 銅賞
 全国高等学校総合文化祭宮城大会 文化連盟賞
 東京国際声楽コンクール高校生アンサンブル部門 甲信越地区大会優秀賞
 " 東日本准本選 入選
 " 本選 4位入賞

吹奏楽 吹奏楽コンクール県大会 銀賞

F M C 高文連/パワーライブ県大会・高文連/パワーライブ県フェスティバル

写真 県高等学校写真展

書道 県高等学校書道展
 長野県県展(金1 銀7 銅6)
 高野山競書大会(推薦2 特選3 準特選4 金8 銀6 銅4)

美術 県高等学校美術展出展

運動クラブ

弓道 剣道 サッカー 水泳 野球 陸上 ソフトテニス 卓球
ソフトボール バドミントン テニス バasketボール
ハンドボール バレーボール フットサル

長野県高等学校総合体育大会

弓道(男女) 団体 個人

サッカー

バスケットボール(男子)

バスケットボール(女子)

バレーボール(男子) ベスト16

バレーボール(女子) ベスト16

ソフトテニス(女子) 団体 個人

陸上(男女)

卓球(女子) 団体

ソフトボール ベスト16

ハンドボール(男子)

剣道(男子) 団体

水泳

なぎなた 個人試合

北信越高等学校体育大会

水泳(男・女) 200m個人メドレー 富岡市
 100m/バタ 200m/バタ 8位

陸上(女子) 走り高跳び 富山市

なぎなた 個人試合 松本市

長野県高等学校新人体育大会

弓道(男女) 団体 個人

サッカー

バスケットボール(男子)

バレーボール

ソフトテニス(女子) 団体 個人

テニス(男女) 団体

陸上(男女)

卓球(男女) シングルス

ソフトボール

ハンドボール(男女)

剣道(男子) 団体

全国高等学校野球選手権県大会

野球

- 6月6日 春季クラスマッチ
- 6月9日 ミスズっ子ミーティング
- 6月12日 盲学校との交流
- 7月7~10日 第70回 双蝶祭「花蝶風月」
来場者 2日間 2,026名
- 7月28日~8月10日 福祉施設ボランティア活動
訪問先 ①北部デイサービスセンター
②東部デイサービスセンター
③北ふれあいホーム

- ④ふれっ手
- ⑤浅間児童センター
- ⑥あがた児童センター
- 9月24日 視覚障害者施設「ふれっ手まつり」ボランティア活動
- 10月7日 松本盲学校文化祭訪問
- 10月13日 ミスズっ子ミーティング

平成29年度
生徒会活動紹介

進学合格状況 (平成28年度末 延べ人数 浪人含む)

【国公立大学】 16名							
信州大学	7	富山大学	2	高崎経済大学	2		
長野県看護大学	1	長野大学	1	福井県立大学	1		
前橋工科大学	1	山梨県立大学	1				
【私立大学】 208名 (一部抜粋)							
愛知大学	3	国士舘大学	2	拓殖大学	2	名古屋外国語大学	1
青山学院大学	1	駒澤大学	4	多摩美術大学	2	南山大学	1
亜細亜大学	3	佐久大学	5	帝京大学	2	新潟医療福祉大学	5
桜美林大学	3	実践女子大学	1	東海大学	11	日本大学	5
大妻女子大学	3	芝浦工業大学	1	東京医科大学	1	日本福祉大学	8
神奈川大学	3	白百合女子大学	1	東京経済大学	6	法政大学	4
金沢工業大学	3	諏訪東京理科大学	5	東京電機大学	3	松本大学	12
関東学院大学	11	成蹊大学	3	東京農業大学	2	武蔵野大学	1
京都女子大学	1	清泉女学院大学	2	東京薬科大学	1	明治大学	1
健康科学大学	3	専修大学	3	東洋大学	6	明治学院大学	2
工学院大学	3	創価大学	4	獨協大学	4	名城大学	1
国際医療福祉大学	2	大東文化大学	8	長野保健医療大学	2	龍谷大学	2
【公立短期大学】 9名							
大月短大	2	長野県短大	5	三重短大	2		
【私立短期大学】 40名							
青山学院女子短大	1	信州豊南短大	2	長野女子短大	1		
飯田女子短大	2	清泉女学院短大	3	松本短大	3		
大妻女子大学短大部	1	鶴見大学短大部	1	松本大学松商短大部	20		
【専門各種学校】 64名							
看護医療系	23	その他分野	41				
【就職】 8名							
アルピコ交通(株)	1	自衛官	2	塩尻市役所	1	長野県警察官	1
ブリヂストンタイヤ長野販売(株)	1	(株)デリシア	1	甲信越エア・ウォーター(株)	1		



**本校創立100周年記念誌
「美須々のこころ」(校歌CD付)
を好評発売中**

1冊 5,000円

ご購入希望の方は事務局まで
ご連絡ください。

**美須々教育会館(同窓会館)を
ご利用ください。**

(同窓会の前に見学して、懇親会へ)
ご利用希望の方にご連絡ください。
学校 TEL 0263(33)3690

事務局員は毎週火・木曜日の10時から15時まで勤務しています。

事務局TEL & FAX 0263(33)2560 **スタッフ募集!**

総会の他に学年やクラスで懇親会を開催されていることと思います。その時の写真やコメントをデータにて事務局にお寄せいただければ、同窓会ホームページに掲載し、活動の様子を紹介させていただきます。

本年度も大勢の皆様にご出席をいただき有難うございました。コンサートでサクソフォン演奏をして下さった岩渕みずきさんのあのパワーは何処から出てくるのか!と、驚かされ、ピアノ伴奏の正村さんと息の合った演奏に魅了されました。▼母校支援活動の一環としてマイクロバスの購入・貸与により、部活動が充実し、更なる高みを目指す一助になることを期待します。▼「ようこそ母校へ」での身近な先輩たちの体験談は、進路選択のヒントになったのではないのでしょうか。▼このように様々な形で「繋がる想い」が生かされていると感じました。今後共、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。(事務局)

編集後記

訃報

元同窓会長 井口 善高 様

平成29年9月25日にご逝去されました。
松本美須々ヶ丘高校第1期生 昭和30年3月卒業
第4代同窓会長
(昭和60年から平成13年までの17年間)
創立75周年記念事業を終えた錢坂会長より引継ぎ、平成12年創立90周年記念事業完了まで会長職を務められました。
ご生前の同窓会活動へのご尽力に深く感謝するとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。